

## 飛騨農林事務所の普及活動状況（令和8年2、3月活動）

### 今月の重点活動

#### ■ほうれんそう JA全農岐阜のほうれんそう生産事業及びパッキングセンターに係る支援

2月18日、JA全農岐阜のほうれんそう生産事業の事前準備として、ハウス準備作業の支援を行った。当日は、農業普及課からハウス天井ビニールの掛け方やマイカー線の張り方などを、JA全農岐阜の職員と一緒に実践しながら指導した。

また、3月12日には、JA全農岐阜のほうれんそうパッキングセンターの事前準備として、調製作業の支援を行った。当日は、生産者代表、機械メーカー及び農業普及課から、外国人材への作業内容や機械の使い方を説明するとともに、ほうれんそうを使った調製作業を実践した。

今後は、JA全農岐阜が行うほうれんそう生産及びパッキングセンターについて、栽培技術・技術実証及び効率的な調製作業についての技術支援を行っていく。



【天井ビニール張り実践指導】



【調製作業実践指導】

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■担い手 農業担い手リーダー各団体が通常総会を開催

飛騨地域の農業担い手リーダー3団体の通常総会が、農林事務所が支援のもと開催された。

指導農業士、青年農業士は第49回、女性農業経営アドバイザーは第28回の総会となり、いずれも長い歴史を重ねてきた団体である。今回の総会では、青年農業士は3名、女性農業経営アドバイザーは4名の新たな会員を迎えた。農業担い手リーダーは、飛騨地域の研修指導者として、新規就農者育成の中

核的な役割を担っている。今後は、新規会員へ指導者スキルの伝承を進めることで、より強固な体制を構築し、地域農業への一層の貢献が期待される。



【通常総会の様子（青年農業士会）】

#### ■担い手 高山市の新規就農者との就農状況確認を実施

2月5日と27日、高山市就農支援協議会（市、JA、アグリチャレンジ支援センター、県農林事務所）では、就農5年以内の農業者を対象に、就農状況の確認を行った。本人より農業経営の状況を聞き取り、就農計画を踏まえたうえで、販売、経営、技術面の支援を行った。

農業普及課からは、就農後の決算書を数値化、グラフ化することで、簡易な経営分析を行い、経営の経年変化や今後の課題について説明を行った。

今後とも、農業普及課では、新規就農者に対して、技術面及び経営面で支援を継続していく予定である。



【就農状況の確認】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■水稲 米コンクール入賞に向けた勉強会を開催

白川村美味しい米づくり研究会は、令和元年に各種米コンクール入賞を目指して設立され、現在28名が参加し、優れた実績を上げている。

同会は、令和8年度の入賞を目指し、3月4日に栽培方法等の勉強会を開催した。勉強会では、近年の米コンクールの出品物の品質傾向や栽培についての講演や助言が行われた。農業普及課からは試験中の「アグリルック」を紹介し、参加者からは「作業適期が客観的に見える」「栽培体系を簡単に計画できる」などの意見が寄せられた。

また、白川村では酒蔵建設が進んでおり、酒米を含めて水稲に関する支援の必要性が一層高まっていることから、農業普及課では引き続き適期作業や栽培方法に関する支援を進めていく。



【勉強会に出席する会員】